

Ⅱ 各研修のご案内

医療安全管理者養成研修

1) 開催日時

第1回：令和7年 6/27(金)・6/28(土)・7/2(水)・7/3(木)・7/4(金)・7/8(火)・7/9(水)
フォローアップ研修(6ヵ月後)：令和8年1月 開催予定

第2回：令和7年 7/24(木)・7/25(金)・7/26(土)・7/30(水)・7/31(木)・8/1(金)・8/2(土)
フォローアップ研修(6ヵ月後)：令和8年2月 開催予定

第3回：令和8年 1/28(水)・1/29(木)・1/30(金)・1/31(土)・2/4(水)・2/5(木)・2/6(金)
フォローアップ研修(6ヵ月後)：令和8年8月 開催予定

2) 受講資格

次の①～④の要件を満たしていることが必要です。

- ① 看護師としての実務経験が5年以上の方(准看護師経験を除く)
- ② 現在、医療安全管理者の任にある、又は今後その役割を担う予定の方
- ③ 7日間全日程(41時間)に参加可能な方
- ④ 6ヵ月後フォローアップ研修に参加可能な方(研修受講後、活動記録の提出あり)

3) 募集定員 70名(各回)

4) 受講料 【会員※】49,500円 ※令和7年度入会手続きが済んでいる東京都看護協会会員
【非会員】99,000円
●受講料は、6ヵ月後フォローアップ研修の受講料を含みます

5) 研修会場 東京都看護協会会館
〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号
最寄り駅：都営大江戸線「西新宿五丁目」駅

6) 申込期間

第1回・第2回(同時募集) 令和7年 4月 4日(金)～ 5月 9日(金) 17時必着
第3回 令和7年11月21日(金)～12月19日(金) 17時必着

7) 申込方法

東京都看護協会ホームページからのお申し込みと郵送でのお申し込みが必要です。🌐 <https://www.tna.or.jp/>

STEP1 受講する回「第〇回」を確認し、WEB申込をします。

STEP2 受講推薦書「様式3」をダウンロードして記入します。

STEP3 返信用封筒を準備します。**長3サイズの封筒に、110円切手を貼付してください。**
返信用封筒の表には「施設又は自宅(受講可否通知送付先)の住所および氏名」を記入します。

STEP4 受講推薦書「様式3」と返信用封筒を下記に郵送します。
※ 封筒の表に「**第〇回 医療安全 推薦書在中**」と**朱書き**をお願いします。

〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号

東京都看護協会 医療安全担当 宛

8) その他

- 修了証書は、7日間(41時間)すべて出席した場合のみ発行いたします。
- 応募者多数の際は選考となります。また、書類不備により受講不可となる場合があります。
- 原則として受講決定後の受講者の変更及びキャンセルはお断りいたします。万が一キャンセルとなった際は「推薦者」の方からのご連絡をお願いいたします。
- 受講料納入後、自己都合による受講キャンセルの際は、受講料の返金はいたしません。

9) 研修内容 (予定)

※講義の順番は回により異なります。また内容は一部変更になることがあります。

No	時間	科目名	目的	内容
1	1.5	医療安全の変遷および政策	・医療安全に関する動向及び基本的な知識を理解する	・医療安全管理に関する法令や制度、指針 ・医療安全施策の動向
2	1.5	日本医療機能評価機構の活動	・日本医療機能評価機構の役割と活動について理解する	・日本医療機能評価機構の役割 ・事故防止事業と産科医療補償制度 ・医療機関内の情報の活用
3	3	医療現場における医療安全の考え方と基本的知識	・医療安全の基本的な知識を理解する ・医療安全におけるPDCAサイクル、評価を理解する	・医療安全の基本的な知識 ・医療安全活動のPDCAサイクルの実際、評価 ・KYTの実際
4	3	医療事故に関連する法律の基礎知識	・医療事故に伴う法律の基礎知識、法的責任を理解する ・事故発生時の対応を理解する	・医療事故に関連する法律の基礎知識 ・医療事故調査制度 ・医療事故に伴う法的対応
5	3	医薬品安全管理責任者の役割と組織的取り組み	・医薬品安全管理責任者の役割と協働について理解する ・薬剤に関連した医療事故を理解する	・医薬品の安全管理に必要な基本的知識 ・薬害と副作用について ・医薬品副作用被害救済制度 ・医薬品安全管理責任者の役割 ・医薬品に関連した具体的事例への対応
6	6	【演習あり】 医療事故発生のメカニズムとヒューマンエラー	・医療安全に資する心理学や人間工学の見地から、ヒューマンファクターについて学ぶ ・ヒューマンエラーを防ぐ組織的な取り組みを学ぶ ・医療安全におけるチームでの取り組み、コミュニケーションの重要性を理解する	・ヒューマンファクターとその対応 ・職場風土と安全文化 ・事故とヒューマンエラー【演習】 ・医療安全におけるコミュニケーション【演習】
7	1.5	医療事故発生時の対応	・事故発生時の組織的対応を理解する ・重大事故発生時の組織的対応を理解する ・当事者や部署のサポートを理解する	・医療事故発生時の初期対応、組織対応、当事者サポート等 ・医療事故調査制度事案の対応
8	1.5	医療機器安全管理責任者の役割と組織的取り組み	・医療機器安全管理責任者の役割と協働について理解する ・医療機器に関連した医療事故を理解する	・医療機器の安全管理に必要な基本的知識 ・医療機器安全管理責任者の役割 ・医療機器に関連した具体的事例への対応
9	1.5	医療関連感染対策の基本的知識	・医療安全のための院内感染対策の基本的知識を理解する	・医療関連感染対策の基本的知識 ・リスクマネジメントに必要な感染対策 ・医療安全担当者との協働
10	1.5	医療事故に関係した患者・当事者への対応	・医療事故に関わった当事者や患者を理解する	・医療事故の当事者や患者のサポート・対応
11	1.5	インシデントデータと医療安全対策構築	・組織における医療安全体制の構築について理解する	・インシデントレポートの活用による医療安全管理体制の再構築 ・医療安全に関する組織的取り組み ・医療安全管理室の役割
12	3.5	【演習あり】 組織の医療安全管理体制と医療安全教育活動	・組織の医療安全管理体制及び、教育活動を理解する ・看護に関連した医療事故を理解する	・医療安全のための指針【演習】 ・組織横断的な組織づくり ・医療安全委員会の役割 ・看護に関連した具体的事例への取り組み ・事故報告体制について ・教育研修・教育活動【演習】
13	6	【演習あり】 事例分析手法について (RCA分析)	・医療事故事例の分析手法を学び分析できるようにする	・事故分析の実際 ・再発防止に向けた対策 ・RCA分析【演習】
14	1.5	医療安全への取り組み	・医療安全管理者の具体的活動について学ぶ	・医療安全管理者の具体的活動 ・継続教育
15	4.5	【演習あり】 医療安全への取り組み	・今後の自施設における取り組みの課題を明確にする	・自施設の課題整理【演習】 ・課題解決にむけたプラン作成【演習】

受講者の声

- ★今まで、基本的知識がないままに病棟で医療安全について対応してきたので、目から鱗な学びがたくさんありました。
- ★医療安全という視点で広い分野の話を、多職種の講師から聞くことができ、大変勉強になりました。
- ★集合研修でグループワークも多く、立場や環境の異なる仲間との意見交換は、とても貴重でした。